

VII. 教育研究等環境

2. 点検・評価

(3) 図書館、学術情報サービスは十分に機能しているか。

②改善すべき事項

図書、学術雑誌、電子情報等の整備状況とその適切性については、電子ジャーナルを有効利用するために必須である学術文献データベース（特に洋雑誌）の導入がまだ不十分であるといえるかもしれない。また、学術文献データベースの検索結果から簡単・高速に雑誌文献本文へ移動するサービスを導入する必要がある。

図書館小委員会

電子ジャーナルを有効利用するために必須である学術文献データベース（特に洋雑誌）については、各学部・研究科の図書館運営委員のご理解とご協力により、PubMed（生物医学文献データベース）、The Making of Modern Law（近代英米法関係の二次文献データベース）、Business Source Premier（経済・経営系データベース）、PsycARTICLES（心理学・行動科学分野ジャーナル文献データベース）、PsycINFO（心理学文献抄録書誌子データベース）等、各分野の洋雑誌を対象とした学術文献データベースを導入している。また、学術文献データベースの検索結果から簡単・高速に雑誌文献本文へ移動するサービス（リンク・リゾルバ）については、2012年1月より導入している。

3. 将来に向けた発展方策

(3) 図書館、学術情報サービスは十分に機能しているか。

②改善すべき事項

図書、学術雑誌、電子情報等の整備状況とその適切性については、学術文献データベース（特に洋雑誌）の導入の検討を行い、さらに学術文献データベースの検索結果が本学契約の電子ジャーナルに含まれている文献ならばダイレクトに論文本文へジャンプできる「リンク・リゾルバ」機能の導入の検討を行う。

図書館小委員会

2013年度のシステム・リプレイスの際に、複数のデータベースや電子ジャーナルを包括して検索できる統合検索システムを導入し、これによりデータベースや電子ジャーナルなどのデジタルコンテンツが、より利用しやすくなった。さらに2014年度予算では、世界的な学術文献データベースであるWeb of Science、そして電子ブック導入のための大型パッケージの予算要求を行っている。Web of Scienceが導入されれば、理系のみならず文系の研究、学習にも非常に有効であり、さらに本学の分析にも大いに役立つ

ことが期待される。

また近年急速に需要が伸びている電子ブックを導入することで、図書館の電子的利用を進めていきたい。

図書館において外国雑誌（冊子体・電子ジャーナル）を購入する費用は、各学部配当の新聞雑誌費であるため、図書館独自の方針を出すことは難しいのが現状である。が、自然科学系のジャーナルに多いオープンアクセスのタイトルについては、常に新しい情報を収集するようにし、アクセス可能なものは、できるだけ迅速に登録するようにしている。現在、フリーのジャーナルも含め、図書館ホームページからアクセス可能な電子ジャーナルのタイトル数は、約 58,000 タイトルである。

大学評価分科会報告書

申請大学名

神戸学院大学

〔基準7〕 教育研究等環境

<概評>

「神戸学院大学移転基本構想」をもとにした整備が一段落し、新キャンパス開設後の財政的な見通しも明らかになり、2010（平成22）年2月、将来計画検討プロジェクトを設置し、新たな中期計画の立案を進めている（『点検・評価報告書』215頁）。そして、将来計画検討プロジェクトの最終答申が2011（平成23）年1月をめどに、総合企画会議に対して提出された（『点検・評価報告書』219頁、実地調査）。

2007（平成19）年にポートアイランドキャンパスが開設されたことによって、校地面積は1.6倍に、校舎面積は1.5倍になり設置基準上必要な面積の5倍となっている。ポートアイランドキャンパスは、都市共生型エコキャンパスの実現をテーマに建築されている。有瀬キャンパスは、「緑とバリアフリーのキャンパス構想」に基づき、耐震補強・バリアフリー工事等を実施し学生の利便性を図るため事務室などの再配置を行った。2009（平成21）年度には、全キャンパスに地震通報システム（資料253）・AED装置を配備した。

図書館の蔵書数は1,010,487冊、視聴覚資料は28,009点であり、学術雑誌は和洋合わせて7,335種類である。図書館の広さは有瀬キャンパス図書館、ポートアイランド図書館、法科大学院図書館合わせて16911.07㎡で設置基準上必要な面積を大きく上回っている。司書の人数は43人であり、平均水準を大きく上回っている。図書館の開館時間は、9時から21時（月～土）、法科大学院図書館8時から23時（月～土）・9時から21時（日・祝日）である。閲覧座席数、情報検索設備は、1900席、60台・109口であり、適切である。1994（平成6）年度から国立情報学研究所を提供するGeNiiの事業の一つである目録所在情報サービスに加入している。これらの利用などにより貴大学図書館システムからインターネットを介して図書・学術雑誌の所蔵情報の公開を行い、他教育研究施設との相互利用（文献複写・貸借）を活発に行っている（『点検・評価報告書』215-216頁）。

教員が研究に専念することができる時間は十分に確保できるように配慮している。教員の「海外研修制度」があり、毎年全体で10～20名が長期もしくは短期で海外に出ている（『点検・評価報告書』61頁）。学部専任教員の持ちコマ数は、4コマを基準としており、研究費についても配慮している（『点検・評価報告書』217頁）。また、競争的資金、研究助成金獲得の支援体制もあり、教育・研究支援のための研究支援センターを設置している。

研究倫理に係るポリシー、規程等を制定し、研究倫理を遵守するとともに外部競争的資金等の管理を整備し、不正防止に努めている（『点検・評価報告書』219頁）。

図書館小委員会

図書館の蔵書数は1,101,629冊、視聴覚資料は29,121点であり、学術雑誌は和洋合わせて7,241種類である。図書館の広さは有瀬キャンパス図書館、ポートアイランド図書館、法科大学院図書館合わせて16911.07㎡で設置基準上必要な面積を大きく上回っている。司書の人数は44人であり、平均水準を大きく上回っている。図書館の開館時間は、9時から21時（月～土）、法科大学院図書館8時から23時（月～土）・9時から21時（日・祝日）である。閲覧座席数、情報検索設備は、1937席、60台・109口であり、適切である。1994（平成6）

年度から国立情報学研究所を提携するG e N i i の事業の一つである目録所在情報サービスに加入している。これらの利用などにより大学図書館システムからインターネットを介して図書・学術雑誌の所蔵情報の公開を行い、他教育研究施設との相互利用（文献複写・貸借）を活発に行っている（『点検・評価報告書』215-216頁）。

【図書館の現在の状況】 <2013年3月31日現在>

- ・蔵書冊数は、1,101,629冊（内訳；図書1,072,518冊、視聴覚資料29,121点）である。
- ・学術雑誌は、和洋合わせて7,241種類である。雑誌数が減少している理由は、電子ジャーナルへの切り替えに伴うものであり、質の低下はきたしていない。
- ・図書館の広さは、有瀬キャンパス図書館、ポートアイランド図書館、法科大学院図書館合わせて16911.07㎡で設置基準上必要な面積を大きく上回っている。
- ・司書の人数は45人であり、平均水準を大きく上回っている。
- ・図書館の開館時間は、9時から21時（月～土）、法科大学院図書館8時から23時（月～土）・9時から21時（日・祝日）である。
- ・閲覧座席数、情報検索設備は、1937席、60台・109口である。
- ・1994（平成6）年度から国立情報学研究所を提携するG e N i i の事業の一つである目録所在情報サービスに加入している。
- ・目録所在情報サービスを利用して、図書館システムからインターネットを介して図書・学術雑誌の所蔵情報の公開を行い、他教育研究施設との相互利用（文献複写・貸借）を活発に行っている。
- ・研究図書については、教員が図書館へ持参したらすぐに処理をしている。
- ・研究雑誌のPDFファイルでの購入は、個人でしか利用できないので、本図書館としては全教員が利用できる電子ジャーナルを購入している。